

Cycles of Trio

適切な文章を選び必要であれば編集してください。

経歴 (Snappy)

2015年トム・サザトンは福岡の一流ミュージシャンとしてジャズフュージョンのトリオを結成しました。大音楽家のピアニスト立花洋一と高度な技術を持つドラマーの伊藤公了と共に、Cycles of Trio は西日本中でジャズライブを行っています。

経歴 (Short)

Cycles of Trio は、イギリス人ベーシストのトム・サザトンがその道のトップミュージシャンを見つけ出し、2015年に福岡で結成されました。変幻自在の立花洋一(ピアノ)と熟練された伊藤公了(ドラム)と共に西日本中で演奏し続け、バンドとして2つのアルバム Clear Speaking(2016)と More Mood(2017)を残すこととなりました。

経歴 (Medium)

Cycles of Trio は 2015 年に福岡で結成。福岡市は、若者の移住を通して国際的にも注目を集めて日本でも有数の発展都市となり、バンド結成のきっかけにもなった。その福岡市こそ、トム・サザトンがライブミュージックを行い、自身のプロジェクトを共に行うミュージシャンを探し出す拠点にした場所でもあった。メンバーは、福岡のジャズと国際的な楽曲の先駆けでもある。2016年にはデビューアルバム”Clear Speaking”をリリースし、西日本で数多くの演奏をこなしてきた。今後の出演やイベント、ツアー情報は、メールリストへと Facebook ページで随時更新中。

トム・サザトン イギリス・ロッチデール出身

青年期を香港で過ごす中で東アジアへに魅了され、自分の音楽を追い求めて 2011 年に福岡に移り住んだ。

ダブルベーシストの育成を手掛け、西日本のジャズライブに必要な不可欠な人物であるとともに、トム自身も音楽教室を行っている。

立花洋一 福岡県出身

3歳からピアノとバイオリンを始める。安永武一郎氏の指導を受けたのち、1983年に九州交響楽団を退団してプロに転向した。これまでに1600ものオリジナル曲を作成し、“驚異の作曲マシン”と呼ばれるまでに至った。

伊藤公了 福岡県出身

日本とアメリカの音楽専門学校で音楽を学び、1996年に福岡に戻る。Canopusのドラマーとして活躍しながら、日本でスタジオ”キスミュージック”を立ち上げ、日本中のミュージシャンの指導とサポートを行っている。Cycles of Trio もその一つである。

経歴 (Long)

トム・サザトン (右) ロッチデール出身ー北イングランド・ランカシャー周辺にある大都市マンチェスターの都市ー

青年期の多くを香港で過ごす中で東アジアに魅了され、2010年に福岡へ。
この時からトムは、高い技術を持ったベーシストであり、マルチな演奏家でもあったと共に、音楽の理想と考え方をシェアする魅力的な演奏家だった。福岡の大音楽家であるピアニストの立花洋一氏と一緒に演奏して間もなく、フリーの演奏家たちとヒルトンシーホークを拠点活動する機会に巡り合った。

立花洋一 (左) 福岡出身

3歳よりピアノとバイオリンを始め、安永武一郎氏のもとでピアノ指導を受ける。
1983年に九州交響楽団を退団した後は、福岡のジャズボーカリストの指導に力を入れている。オリジナルで作曲された1600ものピアノ曲によって、驚異の作曲マシーンと呼ばれるまでに至った。

トリオが結成される前、彼とサザトンは互いが納得できるドラマーを見つけるまで、”TomTach”の名で数多くの演奏をしてきた。数々のオーディションの後、洋一氏の記憶に残った伊藤公了が呼び戻され、リハーサルは成功し、トリオの最後のメンバーとして正式にメンバー入りを果たした。

伊藤公了 (中央) 福岡県出身

日本で音楽を学んだのち、アメリカ・ロサンゼルスにある音楽専門学校に留学。1996年に帰国した後は、スタジオ”キスマュージック”を立ち上げた。現在はCanopusのパーカッショニストとしても活躍しており、福岡の多くのミュージシャンの指導やサポートを行っている。

2015年にCycles of Trioを結成して以来、バンドは西日本に渡ってツアーを行い、福岡のジャズ界の発展に欠かせない存在となった。2つのアルバム”Clear Speaking(2016)”と”More Mood(2017)”の収録は彼のスタジオ”キスマュージック”で行った。